

# 賑やかに！夏休みキッズスクール



マジック講座

スイーツデコ講座

## 館報 あもり

発行所  
長野市立安茂里公民館  
電話 226-4059  
発行人 新見 宏司  
発行月 5.7.9.11.1.3月  
(株) 信光社

安茂里地区 世帯数と人口 (8月1日現在)	
世帯数	9,185戸
総人口	20,612人
男	9,905人
女	10,707人

**イツッ！ショータイム**

♪♪会場に怪しげな音楽が流れます。8月3日(火)安茂里公民館の集会室に夏休みの子供たちが大勢集まり「夏休みキッズスクール・マジック講座」が始まりました。講師には長野市でマジックのステージを展開し、グループでマジックの研究を長く続けていらつしやるスマイリー山上さんと奥様にお願ひ致しました。夏休みに入ってもコロナ禍でなかなか遠出を含め外出ができない中で、少しでも子供たちに楽しい時間を持ってもらえればと去年から始まった講座です。スカーフや金属のリングを使ったマジックに子供たちから大きな拍手が送られ、ご夫妻が協力して奥様の早着替えも見事に成功、会場全体が驚きに包まれました。そして、後半はマジックの種明かしをしながら子供た

**親子でバームクーヘンのキーホルダーづくり**

翌8月4日、去年に続いて2回目のスイーツデコ講座がありました。20人の参加者全員が女子でした。毎回、可愛い作品が出来上がる、女の子たちには大変人気のある講座です。粘土に色をつけ、型を取り、バームクーヘンの特徴の年輪をマジックペンで書き入れます。シリコンのホイップクリームを絞り、リボンやフルーツで飾り付けをしてキーホルダーの完成です。同じ材料でも、飾り方一つで違いが出ます。同じものが一つもないオンリーワンな作品に、皆さんニコニコ顔でした。

ちが実際にそのマジックに挑戦するコーナーです。紙コップの底からコインがコップの中に入ってしまうマジックや3つの紙コップのどれにコインが隠れているかを当てるマジックなど子供達でもできる簡単なものをスマイリーさんから教えていただきました。果たして子供たち、夏休み中に完璧にマスターしてお父さんやお母さんそして友達を驚かすことができたかな？

杏

感染拡大が続くコロナ、そのコロナに翻弄される多くの人たちがいます。オリンピックをめぐりし青春の日々の大部分を厳しい練習に捧げてきた選手たちも例外ではありませんでした。東京を最後のオリンピックと決め、鉄棒一本に絞り金メダルを目指した世界の内村航平選手、白血病からの奇跡の復活で東京オリンピック出場を決めた水泳の池江璃花子選手、県内出身で今回こそ金メダルを目指したバドミントンの奥原希望選手、日本代表となった全ての選手が東京を目標に血のにじむような努力を重ねてきたに違いありません。皮肉にもそんな選手たちを待ち受けていたのが、コロナの感染拡大によって開催が一年延期された上に、開催中止を求め声が大きくなっていく現実でした。選手たちはそんな現実をどんな思いで受け止めていたのでしょうか？しかし、そうした逆境にも心折れることなく目の前に展開される彼らのベストパフォーマンスに日本列島は熱く燃えました。多くの人を感動に包んだ汗と涙にまみれた笑顔：真夏の日本に改めてスポーツの素晴らしさを教えてくれた選手たちに惜しみない拍手を贈りたい。



企業を訪ねて①

日時 7月16日(金)  
参加者 20名

◎皆様の食卓に笑顔を!

精米工場  
ベイクックコーポレーション

◎慶応元年創業 長野の地酒

「本老の松」 東飯田酒造

◎新聞ができるまで

信濃毎日新聞  
長野製作センター



白いお米のありがたさ

鈴木 恵美

梅雨明けが待ち遠しい暑い晴天の日に企業を訪ねて①に行ってきました。

コロナ禍での社会見学は今回も感染対策はバッチリです。バスに乗り込みまず向かったのはベイクックコーポレーション株式会社。何度も石や異物を取り除き、厳しいチェックをさせていただいたからこそおいしい白米。改めて「白いお米」のありがたさがベイクックさんのおかげなのだと思いました。

次に向かったのは、長野の地酒本老の松でおなじみの東飯田酒造。こんなにご近所に酒蔵があるなんて、全然知らなかったの、お徳な発見でした。酒蔵の建物はなんと江戸時代後期に建てられたそうですが、趣きがあり、大切にされてこられたのがよく分かりました。松本城のような急な階段をあがると、昭和の調度品が並び、レトロで懐かしい空間をみなさん楽しんでいました。  
白玉蘭さんでおいしい食事をいただき、次に向かった先

は、信濃毎日新聞長野製作センターです。こちらではちょうど夕刊の印刷に合うように、新聞ができるまでをDVDで説明いただき、いよいよ現場を間近で見学です。印刷の機械が動き出し、インクの色が混ざった真っ黒の新聞紙が数部できたかと思うと、

キレイに刷られてきたてホヤホヤの夕刊がすごい勢いで出てきました。その内容を担当の方がチェックして各販売店に行くために、新聞が流れていきます。その速さといったら。ちなみに私たちは長野の梅雨明けを刷りたての夕刊で知りました！たくさんの人の手を経て、毎朝きちんと届く新聞ができているのだと感心しきりの一行でした。

なかなか見ることでできない裏側をコロナ禍の中で、快く見せていただき、本当に感謝致します。楽しい真夏の一日をありがとうございました。

伝統を引き継ぐ酒蔵!

金児 範子

去る、七月十六日、公民館主催の企業を訪ねて①に参加させていただきました。

最初はベイクックコーポレーションの本社へ。精米工程の説明と工場内にある倉庫を案内して頂きその積み上げられたお米の多さに驚かされました。次は篠ノ井小松原の

東飯田酒造へ。銘柄は「本老の松」蔵に入ると脈々と受け継がれてきた歴史を感じました。丁度お昼になり小市の「白玉蘭(モクレン)」での昼食どれもみな美味しく皆さん大満足！お腹もいっぱいになったところで今日の最後の訪問先である青木島の信毎製作センターへ。工場内を見終え改めて新聞の持つ影響力の大きさに気づかされ、大変興味深く見学させて頂きました。このコロナ禍の中、企業をはじめ公民館の皆さまにはこのような機会を作って頂き本当に感謝申し上げます。

とても充実した楽しい初夏の一日を有難うございました。

私たちの周りにある

歴史と最新技術

岡村 修一

七月十六日は、梅雨明け初日となり晴天でした。コロナ禍の下、初めて参加した本講

座は発見の連続で関係の皆様心に感謝申し上げます。

風間のベイクックは、食の安全安心を第一に最新設備で精米等を徹底され、御飯を頂く際は、精米事業の皆様方への感謝も忘れまいと反省した。小松原の東飯田酒造は到着時ここに酒蔵?とびっくり。酒蔵王国信州ではピーク時の一千蔵から八十蔵に激減とか貴重な穴場として末永く応援したい。昼食は小市の白玉蘭。完食後ウトウト気分で見学した信毎長野製作センターでは、紙から電子化へ急速に移行する情勢下でより速くより美しい紙面への技術革新を追求され、その最新技術に目を見張りました。今後も様々な講座と出会い、終の棲家と定めた地域で発見を重ねながら、梅雨明け初日の様な気分をまた味わえたら幸いです。





令和3年度安茂里公民館の生活文化講座に、「ブラッヅモリ」なる講座が開設された。どこかで聞き覚えのある言葉だが、公民館職員の発案で新設された講座だという。コロナ禍であり、路上観察を中心とした講座であることから定員を10名と絞り、安茂里地区を3つに分け、①6月22日(火)〜平柴・小柴見、②9月22日(水)〜久保寺(差出・大門・小路・西河原)〜、③11月17日(水)〜小市〜の大町街道沿いを中心とした地域探訪を開催することとなった。初回の申込みはすぐに定員となりキャンセル待ちも多く出たというが、こうした状況下での人数制限は致し方なく、申し訳ない限りだ。

仰の対象となる神社や寺も、大切に伝えられてきた地域である。こうした「安茂里」も昭和三〇年代からの高度経済成長とともに、旧道の南側や山沿いの田畑を開発しての団地造成が進み、人口増加が著しい場所となった。従来住み続けてきた人々とともに新しく住み始めた人々も、新旧混在の安茂里地区において今後さらに故郷「安茂里」を皆と一緒に発展させるための一助にと、「ふるさと再発見」の講座を企画したものである。自分の足元の地に関心を寄せ、これからの安茂里に想いを寄せていただければありがたい。

「安茂里」と名が付く明治期からの流れを見てみると、明治四年(一八七二)の廃藩置県時には平柴・小柴見・久保寺・小市の四か村であった。明治九年(一八七六)に四か村が合併して「安茂里村」となった。その際各村は自村の名を入れることで譲らなかつたが、当時の副戸長岡村与五郎が古典からの「安茂里」(安らけく茂る里)を提案し、各村も賛成して決定したものであった。

しかし、明治十二年に平柴村が、十五年には小柴見村が分離独立してしまったものの十八年には再び合併し、役場を安茂里小学校の場所に置いた。当時戸数六四九戸、人口三三三四人、耕作反別七〇一町歩であった。昭和二十九年(一九五四)に長野市に編入合併し、現在に至る。なお安茂里の各村は近世には松代領であったが、平柴のみ善光寺領であった。

今回第一回の平柴・小柴見地域では、善光寺から相生橋を渡って小柴見に入り大門へと抜けていく大町街道に沿って、歴史・民俗を見ていくものである。近世初期に小柴見から分かれた平柴の地から見ていく。朝日山中腹にある阿弥陀寺は、川中島平からも赤い屋根が見える眺望の良い地に位置する。他所にもあるが「夕焼け小焼け」で有名な寺の一つで、昭和十七年その鐘も供出されたが昭和三十五年に再鑄造した鐘が戻ったのを記念して作曲家の中村雨紅を招いている。本堂内には長くて大きな数珠が置かれていて、これは数珠回しをしなくなった他所からいくつか寄進されたものを繋げたものである。



藤原道祖神



諏訪神社

また阿弥陀寺上に紅屋青木煙火工場があり、花火作り作業を見学させていただいた。危険な火薬を扱うために人家から離れたこの地に移ってきたものであつたが、古くから神社の祭りに杜花火として奉納してきた歴史があり、明治十一年(一八七八)長野へ天皇が巡行した折にもお祝い花火を上げるなど、現在も恵比須講花火や全国の花火大会に出向いて活躍している。毎年犀川神社で行われる杜花火は、今では珍しい氏子達が手作りで打ち上げる仕掛け花火で、県無形民俗文化財に指定されている。阿弥陀寺下にある眺望の良い公園の一角にある道祖神は、「藤原道祖神」と呼ばれ、人名を冠した道祖神は珍しい。普通は道の神とか厄除け、夫婦和合の神とかといわれ、村の外れに祀り村内を守る神であるが、平柴の住人藤原銀次郎を祀ったものである。苦学をしながら、明治期に大王子製紙を起こし「製糸王」として名をはせた人である。故郷のためにと、急坂ばかりで水の便が悪い平柴や隣接する小柴見、差出に水道を敷き、細い村道を拡幅して完全舗装にするなど、全費用を寄付して郷土のために尽くした。その功績により昭和三十一年(一九五六)に道祖神碑が建てられたもので、村民の強い願望がかなえられたのである。一方村の鎮守である諏訪神社下からは絶えることがないと言われる湧き水が出ており、かつては飲み水として、現在も樋池水神宮を祀り近隣の家々で洗い物などに利用している。

水に関連しては、裾花川を水源とする朝日山中腹の夏目ヶ原浄水場があり、小柴見の小柴見神社の創建も裾花川に由来する。南組は平柴の諏訪神社の氏子であり、北組は中御所の笹焼明神の氏子であったが、裾花川の氾濫に悩まされてきた住人は、寛政六年(一七九四)に平柴の諏訪神社の分身を祀り小柴見神社とした。

こうした平柴・小柴見地域のふるさと再発見では説明不足の部分が多かつたが、次回以降希望される皆さんの参加を是非お待ちしております。

(元安茂里公民館長 多田井幸規)



**豊かな生活  
育てましよう**  
安茂里公民館 226-4059

**生活文化講座**  
◎フルートの調べ

日時 9月15日(水)  
午後1時30分～  
定員 30名  
申込 8月25日(水)～  
(お問い合わせください)

◎ブラッアモリ”  
～ふるさと再発見!!②

日時 9月22日(水)  
午前9時～  
定員 10名  
申込 9月2日(木)～  
(時間変更になっています)

◎文学講座②

～29歳の一茶、  
14年ぶりに故郷柏原へ  
日時 9月29日(水)  
午後1時30分～  
定員 30名  
申込 9月8日(水)～

◎企業を訪ねて②

日時 10月15日(金)  
午前8時50分～  
定員 20名  
申込 9月21日(火)～

◎楽しく歌おう愛唱歌②

日時 11月12日(金)  
午後1時30分～  
定員 50名  
(感染予防のため定員変更  
しています)

安茂里地区にお住まいの方  
10月22日(金)～  
その他地区にお住まいの方  
10月29日(金)～

◎ブラッアモリ”  
～ふるさと再発見!!③

日時 11月17日(水)  
午前9時～  
定員 10名  
申込 10月27日(水)～  
(時間変更になっています)

◎ジャズに魅せられて

日時 11月25日(木)  
午後1時30分～  
定員 30名  
申込 11月2日(火)～

◎アンチエイジング講座

◎ツボ講座  
日時 9月30日(木)  
午後1時30分～  
定員 15名  
申込 9月9日(木)～

**安茂里地区成人祝賀式のご案内**

**日時** 令和4年1月8日(土) 13時から15時(12時30分受付開始)

**場所** 安茂里公民館(安茂里総合市民センター) **例年と日程が変更になっています。**

**対象者** 平成13年4月2日から平成14年4月1日の間に生まれた方

- ・対象者のうち安茂里地区に住民登録されている方には、11月中旬に案内状を送付します。
- ・対象者のうち安茂里地区外に住民登録されている方については、下記の該当調査票に記入し安茂里公民館または各地区公民館長へ提出してください。それにより案内状を送付します。

※新型コロナウイルスの状況により、会場等を変更することもあります。

その際は別途お知らせいたします。ご了承ください。

◇問い合わせ先 長野市立安茂里公民館 電話026-226-4059(FAX兼用)

コピーまたは、切り取って安茂里公民館(FAXでも可)または各地区公民館長へ提出願います。

----- 切り取り線 -----

**安茂里地区成人祝賀式該当者調査票**

令和3年 月 日  
提出期限10月22日(金)まで

公民館長様

成人者氏名	性別	生年月日	親(保護者等)氏名	案内状送付先	地区名
ふりがな	男・女	平成 年 月 日		〒 電話番号	

※本人が就学、就職などで住民票を安茂里地区外に異動している場合にはこの調査票を提出してください。  
(この個人情報、成人式以外には使用しません)